



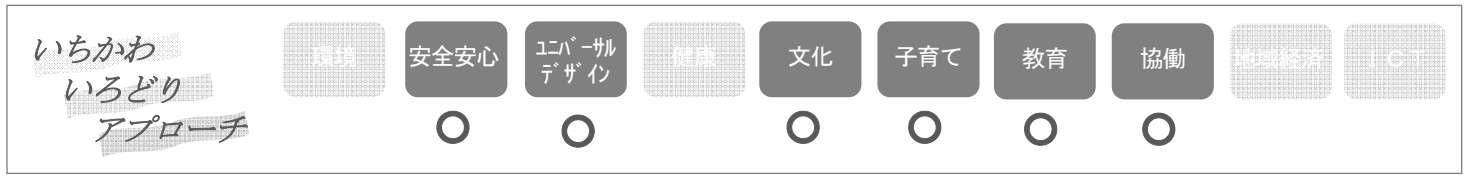
彩り豊かな文化と芸術を育むまち 第2章

施策の方向	大分類	中分類
1. 芸術・文化を身近に感じるまちをつくります	1. 芸術・文化	1. 豊かな心を育む文化活動の支援
2. 文化的資産や伝統文化をまちの活性化に活かします	1. 文化的資産	1. 地域を彩る文化的資産の保全・活用
3. 暮らしの中で「まちの文化」を育みます	1. 文化の創造	1. 新たな「まちの文化」の構築 2. 新たな文化的資源の創出と情報発信 3. 多文化共生のまちづくり

第2章 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

第1節 芸術・文化を身近に感じるまちをつくります

(大分類) 芸術・文化



芸術・文化分野を取り巻く現状と課題

市川の文化は、この地に人々が暮らしはじめた原始、古代の時代から連綿と受け継がれ、歳月と人の流れとともに熟成、発展を遂げてきました。

私たちは、日本最古の歌集である万葉集に詠まれた手児奈の伝説など、市川の地形、人、歴史が幾重にも重なり形成された、全国にも誇るべく「市川固有の文化」を理解し、私たちの暮らす現在の市川にも生かしていくとともに、次代の市民にも着実に引き継いでいかなければなりません。

そのためには、過去の歴史と文化によって育まれた芸術・文化事業の振興や施設の整備・充実を通して、すべての市民が豊かな心で身近に芸術・文化を享受できるよう努めていく必要があります。

さらに、市民が自主的に芸術文化活動を行い、自らが芸術・文化を創造することができるよう、市民活動を支援していくことが重要です。

芸術・文化分野のねらい（中分類）

1. 豊かな心を育む文化活動の支援

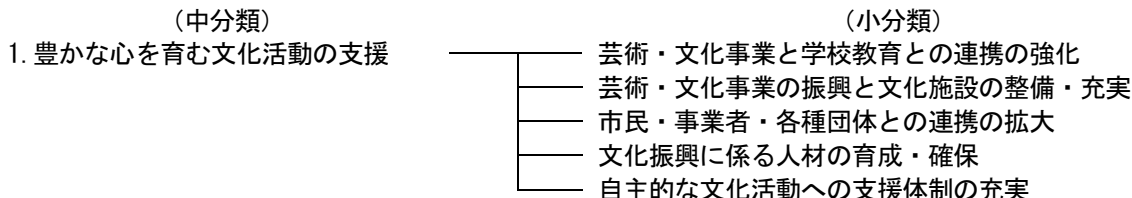
次代を担う子どもたちをはじめ、市民の誰もが芸術・文化に親しみ、活動に参加できるよう、芸術・文化事業の振興や施設の整備を図りながら、市民、事業者、教育機関、各種団体との連携の強化、芸術・文化に触れる機会の拡充を図り、豊かな心を育みます。

また、芸術文化活動を行う人材を育成することで、市民の自主的な活動を活性化していきます。



第12回市川の文化人展（至宝ふたたび）

芸術・文化分野の構成



その他の関係主体ごとの役割

主体	期待される役割
市民	・自主的に文化活動に参加し、芸術に親しみます。
事業者	・文化に関わる各種市民活動団体やNPO等における組織運営等の人材育成、活動支援を進めます。

芸術・文化分野の達成状況をみる指標

【市民満足度】

指標	現状	目標(平成32年)
市の芸術・文化の取り組みに満足している市民の割合	25.4%	↑

【代表的な指標】

指標	現状	目標(平成32年)
1. 文化活動が活発に行われていると思う市民の割合	33.4%	↑
2. 近隣市より歴史にもとづく芸術・文化が根付いていると感じる市民の割合	31.2%	↑
3. 文化施設への来館者数	延 651,043 人	↑
4. 文化施設の大規模リニューアル回数	0 回	↑

実施部・予算

- 主な実施部
：文化国際部
- 主な予算
：一般会計 総務費

部門計画名

市川市文化振興ビジョン（文化国際部）



芸術祭・文化祭（手工芸公募展）

第2章 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

第2節 文化的資産や伝統文化をまちの活性化に活かします (大分類) 文化的資産



文化的資産分野を取り巻く現状と課題

歴史と文化に彩られた本市は、多くの有形・無形の文化財のほかにも、市民の生活文化に由来した歴史的・文化的資産に恵まれています。

高齢化による後継者不足などの課題がある中で、こうした歴史ある文化的資産を埋もれさせることなく、営々と現代の人々に親しまれるよう活用していくことが大切です。

そしてこのことが、本市の個性を明確化し、ひいては21世紀社会においても本市が活性化し続けていくためのひとつの魅力となるものです。

文化的資産や歴史的建造物を活用した街かどミュージアム事業やその他の文化事業の充実、伝統文化の保存と活用、近代文学や歴史に重きを置き、文化的資産と市民生活との係わりを一層深くしていくことが求められています。

また、自立した地域イベントを目指していくため、イベントに対する市の助成のあり方を再検討していく必要があります。



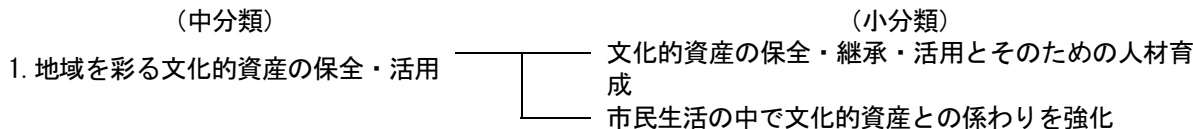
東山魁夷記念館

文化的資産分野のねらい（中分類）

1. 地域を彩る文化的資産の保全・活用

街回遊展や企画展を通じて、中山文化村などの街かどミュージアム施設、東山魁夷記念館、文学プラザの積極的PRと活用を図っていくとともに、文化的資産や伝統文化をまちの活性化に活かすための人材育成を行います。また、市民生活との係わりを一層深めるため、文化的資産や歴史的建造物を活用した事業を展開します。

文化的資産分野の構成



その他の関係主体ごとの役割

主体	期待される役割
市民	・地域に根付いた文化を大切に育て、保存・継承していきます。身近な文化資源に関心を持ちます。
事業者	・歴史的に価値の高い建築物等を保存します。 ・地域に根付いた文化を市民とともに育てます。

文化的資産分野の達成状況をみる指標

【市民満足度】

指標	現状	目標(平成32年)
市の文化的資産の取り組みに満足している市民の割合	26.1%	↑

【代表的な指標】

指標	現状	目標(平成32年)
1. 文化的資産は、保存、継承、活用されていると思う市民の割合	33.8%	↑
2. 文化的資産の名称、位置を知っている市民の割合	34.0%	↑
3. 東山魁夷記念館への来館者数	延 29,469 人	↑
4. 東山魁夷記念館の収蔵点数	6,817 点	↑

実施部・予算

○主な実施部

：文化国際部

○主な予算

：一般会計 総務費

部門計画名

市川市文化振興ビジョン（文化国際部）



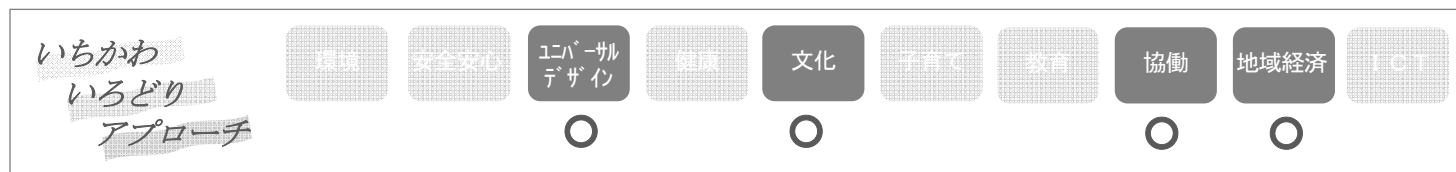
芳澤ガーデンギャラリー



文学プラザ（市川ゆかりの作家展）

第2章 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

第3節 暮らしの中で「まちの文化」を育みます (大分類) 文化の創造



文化の創造分野を取り巻く現状と課題

私たちが生活する市川市では、市民の日々の営みの中から特色ある「まちの文化」として市民納涼花火大会や市民まつりなど、年月を経て新たなまちの文化と呼べるものが誕生し、市民に親しまれています。

また、アイ・リンクタウン展望施設は、現在の市川を象徴する施設と言えます。

本市の発展のためには、こうした新たなまちの文化を将来にわたり、市川の風物詩やランドマークとして大切に育てていくとともに、本市の魅力ある観光資源として市内外に積極的にPRしていく必要があります。

また、国際化の進展に合わせ、様々な国の文化を理解するとともに、在留外国人に対しても、本市の文化を理解してもらい、人、情報の交流を通じて、市民と在留外国人の相互理解を進展させ、国際化時代に相応しい新たな文化を創造していくことが必要です。



花火大会

文化の創造分野のねらい（中分類）

1. 新たな「まちの文化」の構築

市民納涼花火大会や市民まつりなどをはじめとした、本市の魅力と個性を十分に引き出す「まちの文化」に、引き続き市民、事業者とともに協働で取り組み、地域に定着させていきます。また、新たな「まちの文化」を創出することで地域のつながりやにぎわい、まちの活性化につなげていきます。

2. 新たな文化的資源の創出と情報発信

本市にゆかりのある文化人やゆかりの場所、本市を特徴づけている景観や自然など多くの文化的資源を最大限に活用し、また、新たな街並みやイベントを通して文化資源を創出し、文化事業に有効につなげていきます。さらに、シティセールスや観光事業を通じて、市内外へ新たな本市の魅力と情報を発信します。

3. 多文化共生のまちづくり

国際化の進展に合わせ、本市の文化と数多くの海外における異文化について、市民と関係者が国際交流と国際理解の推進によりお互いに知り、理解することで共有し、多文化共生のまちづくりにつなげます。

文化の創造分野の構成

(中分類)	(小分類)
1. 新たな「まちの文化」の構築	市民納涼花火大会、市民まつりなどの継続と発展 市民参加の促進
2. 新たな文化的資源の創出と情報発信	事業活動を通じて新たな文化的資源の創出 PRの積極的展開
3. 多文化共生のまちづくり	国際交流事業の推進 異文化交流事業の推進

その他の関係主体ごとの役割

主体	期待される役割
市民	・文化に関する情報の収集に努めます。
事業者	・異文化交流イベントをサポートします。

文化の創造分野の達成状況をみる指標

【市民満足度】

指標	現状	目標(平成32年)
市の文化の創造の取り組みに満足している市民の割合	16.9%	↑

【代表的な指標】

指標	現状	目標(平成32年)
1. 新たな文化に親しみをもつ市民の割合	43.8%	↑
2. 市民納涼花火大会の観覧者数	約490,000人	→
3. 市民まつりの来場者数	約185,000人	→
4. 国際交流事業への参加者数	約3,000人	↑

実施部・予算

○主な実施部

：文化国際部／経済部

○主な予算

：一般会計 総務費／商工費

部門計画名

市川市文化振興ビジョン（文化国際部）

市川市産業振興基本条例（経済部）



展望施設からの眺望